

TOPIC 03 芋煮会が開催されました。



晴天に恵まれた令和4年10月15日(土)に無事芋煮会を開催することができました。1年生～32年生及び、お子さんとご一緒に来てくださった方含め約30名の方にお集まり頂きました。遠くは東京、山形からも！同窓会のイベントに初めて来て下さった方も10名程度いらっしゃいましたが、楽しんで頂けたでしょうか。これまで全く知らなかった方同士が同窓会の場で繋がっていくというのは、なんとも素敵なことですよね！ご参加いただいた皆さんありがとうございました。

TOPIC 05 同窓会総会開催・役員改選しました。



新型コロナウイルスの影響もあり、過去2年度にわたり総会・懇親会の開催を見送っておりましたが、今年度は8月11日(木・祝)14:00から翠樅会館において同窓会総会を開催することができました。

総会では過去2年間を含めた決算報告及び泉館山高校創立40周年にむけた行事の準備状況に加え役員の改選

宮城県泉館山高等学校同窓会

〒981-3211 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘東1 宮城県泉館山高等学校内
Tel. 022-376-0975
Facebook
<http://www.facebook.com/groups/215259171873714/>

TOPIC 04 令和4年度部活動の主な戦績



- 陸上部
県高校総体
女子走り幅跳 3位
令和4年度十傑賞
女子走り幅跳 5位
令和4年度十傑賞
男子4×100mR 8位
第71回宮城県高等学校
新人陸上競技会
八種競技 4位
第71回宮城県高等学校
新人陸上競技会
三段跳 2位
- 放送部
第41回宮城県高等学校放送
コンテスト新人大会決勝大会
オーディオメッセージ部門
最優秀賞 朗読部門 優良賞
第69回NHK杯全国高校放送
コンテスト宮城県大会
アナウンス部門、朗読部門、
創作テレビドラマ部門 優良賞
- 囲碁将棋部
第39回宮城県高等学校将棋
新人戦 1位
第58回全国高等学校将棋選
手権宮城県予選大会 1位
●総合科学部
第75回宮城県高等学校生徒
理科研究発表会 優秀賞
●家庭部
高校生レシピコンテスト
第三位 銅賞
●写真部
令和4年宮城県高等学校写真
撮影大会 優秀賞

同窓会役員(令和4年～令和6年)

- 会長 庄田 圭佑(17回生)
- 副会長 山崎 賢治(3回生)
- 副会長 玉木 雅大(16回生)
- 副会長 中西 摩州(21回生)
- 会計 高橋 長英(14回生)
- 会計 越後 典子(4回生)
- 監事 小関 勝英(2回生)
- 監事 小野寺 徹(12回生)
- 顧問 太田 尚人(3回生)
- 顧問 小林 良太(6回生)
- 顧問 八巻 真哉(13回生)

最新情報、総会・懇親会の申し込み、
および住所変更等のご連絡はこちらから
<http://www.izumitateyama.jp/>



Abies

翠樅会 宮城県泉館山高等学校同窓会

TOPIC 01 YUTA KATO

母校を訪ねた
卒業生に
聞きました



加藤 雄太さん 17回生

美術家、アーティスト
2006年に東京の京橋にあるギャラリー
での個展でデビュー。以降、個展を軸にグ
ループ展など発表多数。現在はアートを活
かした地域づくりに取り組んでいる。

ここはアーティストとして生きる決めた場所

今に至るきっかけの一つに高2の時に初代東北チャンピオンとして文化祭の舞台でハイパーヨーヨーを披露してスタンディングオベーションを受けたことが忘れられません。体育館の舞台に立った時の武者震いも初めてでした。そんな僕のことを高校の時の仲良かったALTが「He is not afraid of being himself」と言っていたと聞くことがあって、この言葉は僕にとって凄く大事な言葉になっています。そして校舎の陰の物置。アーティストとして生きる決めたのに進路ガイダンスに参加するなんて甘いと思われていた場所。ここもよく覚えています。東京の美大に進学し、故郷にはアートが足りていないことを痛感、帰仙後は仙台の街や暮らしにアートを生み出す土壌づくりを日夜探究しているところです。



TOPIC 02 同じ思い出を持っているという絆

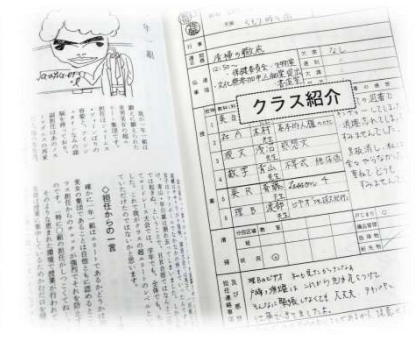
卒業生に在学中の「アビエス」を読んでもらいました

年に一度はあつまっているという4回生の四人。でも実は高校時代は知り合い程度のつき合いだったとのこと。15～16年前にSNSを通じて再会しそこからの友達付き合い。在学中は長くても3年だったつながりが気づけばもうその5倍もの時間を通じてより深い付き合いが生まれているそうです。

- 石田 能子さん 4回生
- 石飛 徳子さん 4回生
- 佐々木 典子さん 4回生
- 安念 恵美さん 4回生



話題は毎回いつもの話。どこがおもしろくどこで爆笑するかってあらかじめわかっているのに、毎年同じようにしゃべって笑って..たのしかったあの頃の記憶を毎年新鮮なままに保つためにやっているのかもしれないね。集まったからこそ思い出すネタもあって..みんなの思い出の欠片を集めればこと起きることなのでしょう。ちなみに当時の生徒会誌「アビエス」の当時の各号を見開きながらこの日みんなの思い出を集めて引っ張り出した記憶は先輩たちのバンド「THE・アッコちゃんバンド」のライブについてでした。同級生との付き合いってのは卒業してからが本番なのかもしれませんね。皆さんありがとうございました。





庄田 圭佑
宮城県泉館山高等学校同窓会 会長

同窓会長あいさつ

殻を破る

あっ！原稿の締め切りを忘れていた。
極めて情けない話だがT o d oを失念するのは日常茶飯事な今日この頃である。
学生や社会人なりたての頃は手帳知らずで、向こう1か月くらいの予定やらタスクは全部頭に叩き込んでいたのだが、アラフォーにもなると記憶力との闘いが激しくなってくる。
一体何を意固地になっているのか、自己の記憶力を過信している私に引導を渡して、全部手帳に記しておけばいいのに、未だにできないあきらめが悪い私である。
素直になって次に進めば、きっと成長した自分に出会えるはずなのに、殻を破れずにいる自分にもどかしさを自問自答しながら悶々とした日々を過ごす。時間は有限であるのに一体何と無駄な時間を過ごしていることか、さっさと殻を破ってしまえば物忘れの問題も楽になるはずなのにだ。これは殻を破るとは一見簡単そうで自分のこれまでの価値観を変容させるには大きなパワーがいるということを示唆しているのだろう。当たり前のように殻を破れるようになれば成長し続けられる素晴らしい人間になれるはず。

同窓会もまたしかり。我々同窓会に課された最大のミッションは母校の発展に寄与すること。これまでの伝統は守りながらも、殻を破り次なるステージに深化していく時が来ているのだ。若い世代の発想を取り入れつつ、館高発展のために何ができるのか、今一度立ち止まって思索する時間が必要なのだと感じている。

これまでの同窓会も様々な面で母校発展に与してきたが、昨年同窓会長を引き受けてから、私はこれまで以上の在校生支援や世代を超えた卒業生間のコミュニケーションを図り、館高支援ネットワークをより強固にしていくことに力を注ぐ覚悟で活動している。

今後は在校生の皆様が学校生活の中で何を欲しているのか、何を同窓会に求めているのかを伺いながら、同窓会を盛り上げていきたいと考えている。是非在校生皆様のお知恵を同窓会発展にお貸しいただければ嬉しい限りである。



渋谷 貴彦
宮城県泉館山高等学校 校長

校長あいさつ

泉館山高等学校同窓会のみなさま、お元気でいらっしゃいますでしょうか。コロナ禍も三年目となり、何かと大変な中にも通常に近くなりつつある生活を送っていらっしゃるご様子とご推察いたします。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り、本当にありがとうございます。

昨年8月には同窓会総会も三年ぶりに実施され、私も出席させていただきました。その後も新体制のもと活発に活動されているご様子を、非常に心強く感じております。

さて今年度の本校ですが、令和2年度より開始された1学級減が完成し、全学年が6学級、定員720名となりました。同時に教職員数も減少し、約60名の体制で日々生徒ひとりひとりに向きあいながら教育活動に当たっています。

学校の活動としては、今年度は5月に泉三校定期戦を何とか実施することができ、6連覇を達成することができました。文化祭（翠樅祭）も三年生の保護者（保証人）に限っての公開としましたが、久しぶりに生徒以外の参観を得て実施することができました。また二年生の修学旅行も、三年ぶりにほぼ通常の形で実施することができました。

部活動では、コロナ禍の影響もあり、吹奏楽部が地区大会を突破した後に県大会出場を辞退するという残念なできごともありましたが、その一方で囲碁将棋部（将棋・女子）が全国大会に出場し、家庭部が全国規模の高校生レシピコンテスト決勝大会で金賞・銀賞を受賞するなどの活躍を見せてくれました。また、放送部は秋の大会で優秀な成績を収め、来年度に鹿児島県で実施される全国高等学校総合文化祭の出場権を獲得しました。また、陸上競技部・囲碁将棋部・放送部が東北大会に進出し、その他の各部も県大会で健闘してくれました。

さて、いよいよ令和5年度に本校は40周年を迎えます。この1月には正式に実行委員会が立ち上げられ、11月2日の記念式典に向けて様々な準備が進められているところです。同窓会の役員の方々にも実行委員会に関わっていただくほか、同窓会からは記念事業への多額の拠出金をいただき、大変ありがたく思っております。

私事ですが、私自身はこの3月で退職を迎えることとなります。来年度は本校も新体制となりますが、同窓生のみなさまにも40周年をお祝いいただき、また今後とも本校の発展のためにご助力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



門前 遥士
宮城県泉館山高等学校 第38回生
生徒会長

出会いと別れの季節となりましたが、私にとって泉館山高校で過ごした日々はまさしく、多くの「出会い」から始まった濃厚で充実した忘れられない日々でした。

まずは友人達との出会い。館高の生徒は、何事にも全力で取り組む真面目さと楽しむときは楽しむという柔軟さを兼ね備えた人達ばかりでした。どんなことも楽しいと思える3年間を過ごすことが出来たのは、間違いなくこの友人達のおかげです。次に先生方との出会い。生徒の話をお聞きになって聞き、いつでも寄り添ってくれる先生方。時には叱られることもありましたが、私たちの頑張りを自分のことのように喜んでくれる姿はとても心強く感じられました。館高でのこれら多くの「出会い」は私にとってかけがえのないものだったと今、心から思っています。

そんな泉館山高校での生活とも別れを告げ、新たな出会いへ踏み出すときが来ました。私たちが出会い、青春を過ごしたこの泉館山高校での日々は、いつまでも私たちの心の中にあり続ける大切な思い出です。出会ったすべての人たちに感謝し、泉館山高校がこれからも皆の心に残り続ける存在であることを心から祈っています。